

## 地域研究のフロンティア

日時:2017年4月28日(金) 13時30分~18時00分

場所:稲盛財団記念館 大会議室(3階・333号室)

### 趣旨

地域研究の方法論に関するこれまでの議論は、主に個別の研究者がどのように地域研究を行うかに関して検討されてきた。その蓄積を踏まえ、本ワークショップでは、個人の研究者ではなく地域研究を掲げる研究機関として、どのように地域研究を進め、その成果をどのように評価するかを考えたい。

世界の諸地域を研究対象とする地域研究において、今日の世界では、研究対象が複雑化するともに、利用可能な情報が種類・数量ともに膨大になり、データを集めて分析する手法も多様になっている。また、研究の成果を誰に向けてどのような形で発信するかという成果発表のあり方も、幅広い期待と要請が寄せられている。

しかし、個人研究者がこれらを十全に満たして研究活動を行うことは現実的でない。複雑化・多様化する今日の世界を対象とする地域研究においては、異分野・異業種連携や国際連携を含めた分業による地域研究の必要性がますます増している。

分業を積極的に認める地域研究において重要なのは、地域研究が包含しうるさまざまな手法や心構えについて、全てを同じ重さで実施することが難しいとき、どれを選択するかを考えることである。このワークショップでは、現地語・現地感覚から学术论文による成果発表まで、個性を持つ学問分野として地域研究を成り立たせていると一般に考えられているようなものをいったん全て検討の俎上に載せて、それぞれが地域研究に不可欠のものなのかを考えてみたい。

### プログラム

13:30~13:40	趣旨説明・司会 山本 博之(東南地域研)
13:40~14:00	1. 関わりのかたち 石井 正子(立教大学)
14:00~14:20	西 芳実(東南地域研)
14:20~14:40	討 論
14:40~15:00	2. 読み解きのかたち 北本 朝展(国立情報学研究所)
15:00~15:20	村上 勇介(東南地域研)
15:20~15:40	討 論
15:40~16:00	<b>Coffee Break</b> 
16:00~16:20	3. 成果のかたち 小森 宏美(早稲田大学)
16:20~16:40	柳澤 雅之(東南地域研)
16:40~17:00	討 論
17:00~17:50	総合討論
17:50~18:00	おわりに 原 正一郎(東南地域研・副所長)
18:30~	懇親会 場所:稲盛財団記念館中会議室(3階・332号室) ※会費制

問合せ先:CIRAS センター事務局

[project@cias.kyoto-u.ac.jp](mailto:project@cias.kyoto-u.ac.jp)